

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 第4アミスター		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別発達支援・小集団発達支援・集団発達支援まで、幅広く対応できる環境を整えているため、子どもたちの気持ちを尊重し、一人ひとりに適した支援をおこなっています。	一人ひとりに合わせた支援をおこなうことで、活動の内容に合わせて空間を使い分けています。また、一人ひとりの気持ちや考えが聞き取りしやすい環境と、気持ちの切り替えをおこなしやすい環境を作っています。	子どもたちの強みを生かせる活動内容を増やし、達成感を味わいながら自分で目標を達成出来るようにしていきます。
2	野外活動、おでかけ、散歩、畑遊びなど、施設外での活動に力を入れています。	子どもたちの意見を取り入れた活動を定期的に取り入れ、立案・計画をおこなって実行まで繋げていくことで、責任感や達成感、社会でのルールやマナーを習得できるようにしています。	今後も継続して「やりたいこと」を形にしていけるようにしていきます。
3	さまざまな学校の子どもたちが在籍していることで、幅広い交友関係を築くことができます。	一人ひとりの意見を受け入れ、他者の考えや思いを知ることができるよう、さまざまな種類のレクリエーションや遊びを発達支援として取り入れています。	子どもたちのアイデアを取り入れながらより積極的な交流を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学年の異なる子どもたちが在籍しているため、活動内容によって一人ひとりの満足度に差が生じてしまうことがあります。	学年によって身体能力、言語能力などの発達段階に差があるため、同じ活動でも難易度や楽しみ方に違いが生じてしまいます。	学年が違うことを活かして、「教える・教わる」というコミュニケーションを身につけたり、お手本になる意識、お手本を真似ようとする意欲を定着化できるようにして、強みを生かせるような活動を増やし、達成感を味わいながら自ら目標を達成できるようにしていきます。
2			
3			